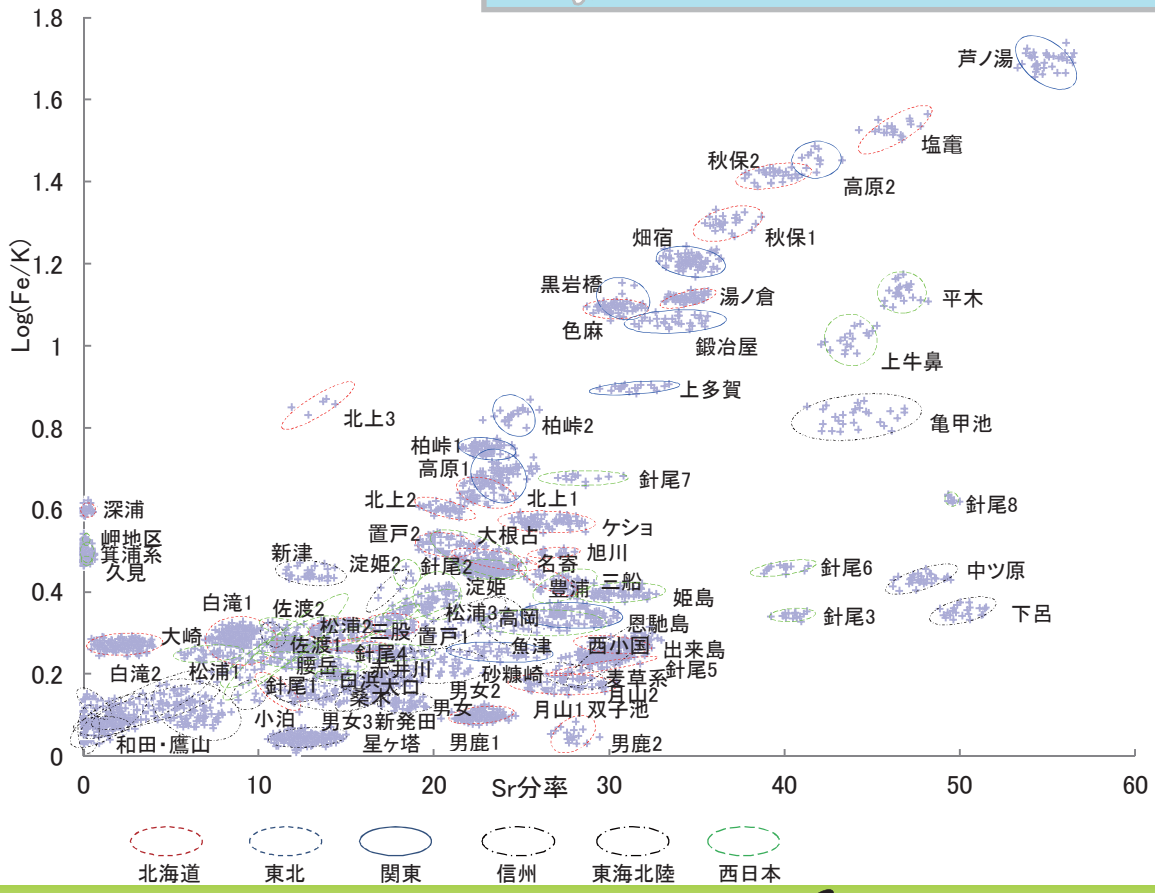
黒曜石産地推定

黒曜石は、流紋岩～デイサイトに相当するガラス岩であり、その現産地推定は、このような黒曜石の生成過程に基づく化学成分の違い背景としている。

現在の産地判別は、遺物の非破壊分析が主流である。非破壊分析は、遺物の破壊を伴わないため、貴重な遺物を後代まで残しておけるのが長所であるが、遺物の表面の風化、変質、汚れによる化学組成の変化による測定結果のばらつきが起こり、判定精度が悪くなる。

そこで、全国の原産地資料約 5000 点分のデーターを用い、再測定を繰り返したり、多変量解析を行うことによって、分析データーをある程度収束させることに成功した。このデーターと比較・検討することによって、遺跡から出土した黒曜石製石器の産地推定を精度良くできるようになった。



パリノ・サーヴェイ株式会社
URL；http://www.palyno.co.jp　E-mail；office@palyno.co.jp